

2024 年 10 月 23 日

## 後期第 1 回 全学実行委員会 議事要旨

文責：全学実行委員会事務局 局長 池田奏翔

### 【本文書について】

本文書では以下の略称を用いる。

参加者の略称：

委員長(全学実行委員長)

副委員長 (全学副実行委員長)

事務局長(全学事務局長)

会計(全学会計)

榆(榆陵祭代表)

薬(薬学祭代表)

工(工学祭代表)

IFF(International Food Festival 代表)

農(農学祭代表)

獣医(獣医学祭代表)

医(医学展代表)

文(文系祭代表)

理(理学祭代表)

歯(歯学祭代表)

その他の略称：

各祭(北大祭を構成する上記の各種祭)

委員会(委員会という場合、組織としての全学実行委員会を指す)

実委(実委という場合、会議としての全学実行委員会を指す)

事務局(北海道大学大学祭全学実行委員会事務局)

### 【後期第 1 回全学実行委員会出席者】

- ・委員長
- ・副委員長
- ・事務局長
- ・会計

- ・ 楡
- ・ 文
- ・ 獣医
- ・ 医
- ・ 農
- ・ IFB
- ・ 薬
- ・ 歯
- ・ 理
- ・ 工

## 【議題】

1. 活動報告
2. 2024 年度中間決算について
3. 実行委員会規則改正案について
4. 新役員選挙
5. 連絡事項

## 【議事内容】

### 委員長

それでは定刻になりましたので、2024 年後期第 1 回北海道大学祭全学実行委員会を始めます。各祭総数 10 の 3 分の 1 以上の出席があるため、北海道大学大学祭全学実行委員会会議規約第 1 章第 1 条の規定より本委員会は成立しました。本日の配布物は、レジュメと別紙二点の計三点になります。ご確認ください。

今回から、代表交代が行われた各祭の方もいらっしゃると思いますので、楡陵祭から順番に自己紹介をよろしくお願いいたします。

### 楡

楡陵祭実行委員長に就任いたしました、蜂谷と申します。よろしくお願いいたします。

### 文

第 66 回北大祭において文系祭実行委員長をしておりました、山田です。よろしくお願いいたします。

67th

## 獣

第 66 回で獣医学祭実行委員長を務めました、三年の門脇と申します。よろしくお願いします。

## 医

新しく医学展実行委員長になりました。医学部二年の高桑です。よろしくお願いします。

## 農

農学祭実行委員長をしています、小武です。よろしくお願いします。

## IFF

My name is Nishimura. Nice to meet you.

## 薬

令和 6 年度薬学祭実行委員長を務めました、浦井です。よろしくお願いします。

## 歯

新しく歯学祭実行委員長になりました、三年の飯島です。お願いします。

## 理

66 回の理学祭実行委員会代表をやっていました、理学部三年の丸宮です。よろしくお願いします。

## 工

今日は代理で来ました。まだ代替わりはしてないのでそのうち来ると思いますが、四年の渡辺と申します。よろしくお願いします。

## 委員長

それでは早速本日の議題のほうに移っていきます。

## 1. 活動報告

### 委員長

まず一点目は活動報告からになります。前回、前期の最終回の実委以降に行った活動としては、9月4日に学生支援課と祭後の反省会を行ったのみとなります。内容といたしましては、本当に今回の祭りの反省ということで、来年以降の事務からの改善点であったり、

今回の評価すべき点であったりの共有いただいたというくらいです。また、何か事務関係で共有すべき事項がございましたら、時期が来たタイミングで共有するという形にさせていただきます。よろしくお願いいたします。何かご意見等ございましたらお知らせください。

## 2. 2024 年度中間決算について

### 委員長

それでは続いて、2024 年度中間決算についてです。全学会計をお願いします。

### 会計

全学会計の山本です。2024 年度の中間決算についてご報告させていただきます。収入に関しましては、8,278,772 円。支出に関しましては、5,384,933 円。残高は 2,893,839 円となり、残高から前年度までの繰越金を引いた利益といたしましては、911,414 円となりました。

こちらの決算につきましては昨日、会計監査の丸宮さんに確認していただき、誤りがないことを確認していただきました。こちらからの報告は以上になりますが、何か中間決算について質問がある方は挙手でお知らせください。

### 委員長

ご意見等はございますか。

それでは続いて、工学祭より実行委員会規則の改定案についてご説明の方をよろしくお願いいたします。

## 2. 実行委員会規則改正案について

### 工

ライングループに送られていると思いますが、そこに書いてあることの通りです。基本的には二つあって、一つは各祭の定義づけをした方がいいのではという話と、もう一つは全学分担金を規約に書いた方がいいのではという二点になります。いずれにしても今日議決は取れないと思うので、一旦持ち帰っていただいて、次回以降で議論して何かしらの結論を出せばいいかなと思います。

簡単に説明をすると、今の規則では第 1 回の実委に出たらどんなところでも各祭になれるので、いろんなリスクがあると思いました。例えば、実行委員会をあまりよく思っていないサークルがあって、実際そのグループ入ってみたりすると、大学祭を潰したいみたいなことを言う人もいました。加えて、普通に各祭のバランスが崩れる可能性もあるので、こういったルールを案として提示しているので、改善等あれば次の機会の時にお話しいただければと思います。

全額分担金に関してもルールが決まっておらず、毎年全学会計の判断だったので、最初の2020年の時に議論がされていますが、それ以降はコロナとかがあってなかなか進んでなかったというところで、三ページ以降に当時の記録をのせてあって、関係するところに黄色くマーカーを付けてあります。そちらを見ていただいて、どういう内訳にするのがよいのか、あるいは別に規約に明記するかどうかというところを議論できればいいかなと思っております。ここまでで何かご質問はありますか。

農

規則の改定追加ということを工学祭さんに提起してもらって、規則に関わる話なので、僕らも慎重に考えたいと思いますし、同時に困っている部分について、ぜひ一緒に考えたいなと思うので、いくつか伺いたいと思います。

まず一つ目の北大祭の規定についての改訂は、一昨年ぐらいの段階から考えられていたという事ですね。

工

そうです。個人的にです。

農

渡辺さんがこういう提案をしてくれたということですか。工学祭の各祭団体の会議などでこういう話し合いになっていたということですか。

工

いろいろ経緯があるのですが、僕がそもそも2022年・2023年に事務局にいた時に思っていて、たまたま工学祭に入ったので、僕がその工学祭にあげたという形で、団体から来たというわけではないです。

農

わかりました。背景という形でいろいろとまとめてもらっていますが、僕は開催自体の否定とか否定的な意見がSNSで見られるというのはあまり詳しくなくて、具体的にどういうことを気にされているとか、話になっているということでしょうか。

工

ミスコンなどもいろいろあったと思いますが、そのうちこの場に来て十人ぐらいで来て採決をとって、では今年はやりませんということもできてしまうというところです。

農

先ほど言っていたようなサークルがいるということですね。

工

そうですね。今どうなっているのかはあまり分かりませんが、当時は結構活発でした。

農

よく思っていないサークルというのはどちらなのでしょう。

工

農

見に行ったりもして、その辺に問題意識をもったということですね。

工

それもありますし、単純にルールとして緩すぎるところがあるのかなと思いました。今言っている外部からの妨害もあるんですけど普通に内部からの、例えば工学祭が16個の祭りを作ることができてしまうのということです。

農

工学祭の中で実際にそういう話があったということですか。

工

いや、ないです。特にはないですが、規約上でできてしまうということです。

農

想像したらこういうこともできるのかなと。

工

そうですね。あとは関係ないかもしれませんが、医学展とあと保健学科祭が昔はあったと思うので、そこが学部内で2個あるときに、そこが結託というのはおかしいですけど協力して、それでバランスが崩れるということも考えられます。

農

最初は工学祭実行委員会がこういう提案をしたことは意外だったんですけど、工学祭実行委員会として話し合ってたということですか。

工

そうですね。実行委員会内で共有しました。

農

わかりました。それともう一つ、全学分担金ですね。こちらも工学祭内での提起があったということですか。

工

そうですね。特に団体から分担金について苦情があったとか、そういうことではないです。

農

直接の不満が出ているとかそういう話ではなくて、今の現行のルールを見てということですか。。

工

そうですね。榆陵祭の規約とかを見ても書いてあったりするので、変えた方がいいのではないかと考えます。

農

ちなみにいつ頃このような提起になったんですか。

工

これを最初に考えたのは今年ぐらいです。実際に話したのはつい最近で、今年に入ってからです。

農

ではこれも一昨年ぐらいですか。

工

そうですね。

農

ではこれも少し考えたらどうかと思って提起してもらったということですね。

工

そうですね。

農

なるほど。では結構主導してやってくれると。こっちについては現段階で直接問題に直面しているっていうことではないですね。

工

そうですね。特にはないですが、もともと防災衛生のみだったはずだったので、そこがいろいろ拡大してくると名目がどんどん悪くなって、団体側の負担が増えたのかなと思います。できるなら実行委員会とか事務局で用意できる資金でなんとかしてあげた方が、皆さん参加しやすいと思います。

農

確かにそうですね。その辺の問題意識がこれ読んだだけだとはっきりしてなかったのも、どのあたりが問題になると考えて提起されたのかという辺りをもう少し詳しく教えてもらえますか。

工

本当に今言ってきたことです。当初の防災衛生っていうところから議論が進んでないなって言うところが一番です。それに付随して団体さんの負担も減らす方がいいのではないかと、あとは事務局の渉外しているお金をもってきていると思うんですけど、その予算で用意できるものだったりするのではないかと、いうところもあったりするので、そうするといたずらに全学分担金でこれ出しますという名目が増えるのは、あまりよくないことなのではないかと思います。できるところはこちら側で負担した方がいいのではと思います。

農

背景がわかりました。この規約の改正というところで、実際今後検討することになると思いますが、どういう団体に何か問題が起きてくるかなとか、伝統が少し途絶えてしまった団体とかもあったりすると思うので、そういう中でぜひ考えていきたいなと思います。ありがとうございます。

工

それでは4番の確認事項のところで各祭の方々に聞きたいところがあって、工学祭実行委員会は工学部から公認を受けているサークルですが、各祭のみなさんは何かしら公認を受けていますか。



文

文系祭です。用件①に書いてある「過去5年以上の各祭としての運営が確認された場合はこの要件を満たしていると判断する」という文章の、5年というのはどういう経緯で決められたのかをお伺いしたいです。

工

これは、公認団体にするのが一番いいのかなと思いましたが、そうでない場合もあるかなと思って、5年以上あれば実績があると見なしていいのではと考えました。5に特に意味はないです。過去の実績があれば運営能力があると認めていいのではないかと思います。

文

わかりました。この5年をもう少し緩くしていただくことはできませんか。実は文系祭が第66回で4回目ですので、来年がちょうど5回目の開催となっております、要件から外れてしまうので、過去の実績という面においてなのであれば一応これまではやってきているので、そこを認めていただく形にしていだけないでしょうか。

工

次回以降議論しましょう。公認団体に含まれないところをどうしようかというのが課題です。

文

わかりました。ありがとうございます。

IFF

杉浦と申します。ここに各学部事務の公認を受けたサークルと書いてあると思うんですけど、何をもって公認としたらいいのかなっていうのがあって、公認学生団体だったらホームページに載っていて、目に見えてわかるんですけど、各学部からってなるとどういったのををもって公認とすればいいのか。

工

そこが曖昧なところがあって、学部によって違うかなと思います。また、工学部は公認団体に対して居室が与えられていますし、事務を確認すると登録されている、されていないは多分判明すると思うので、その辺りで判断できればいいかなと思います。

IFF

こちらの提案としては、各学部とされてしまうと、僕たちは学部祭ではないので、用件か

ら外れて、この 5 年間のという特例措置のみで通っていることになるので、もしも大事故とかが起きて 5 年間でできなくなったら、多分復活ができなくなってしまうので、ここが懸念点かなと思います。

工

特に公認とかはないんですか。

IFF

そうですね。今日見てすぐに事務にメール送ったんですけど返信が来てないので、来週になると思います。

工

その辺りを含めて議案をまた作れればと思います。

農

2 個目で、他の各祭さんは公認を受けていますか。

獣

正直公認を受けているかどうかかわからないっていう感じで、毎年三年生がやると決まっ  
ていて、学祭の時期だけ学年として動いているので、公認という感じではないかなと思いま  
す。

歯

うちも獣医学祭さんと同じで学年で動いているので、公認かどうかよくわからないで  
す。

理

理学祭も同じく学年で動いています。しかも学年が変わるときもあって化学科だと二年  
が担当だったり三年が担当だったりとか年によって違うので、公認というか慣習なのかな  
と思います。予算は教務からもらっていますが、何かやってくださいみたいな横からメール  
が来てそれで動く形なので、結構検討の余地があります。

工

僕が抜けているなと思う部分があったので、また考え直します。その辺りも次回意見・提  
案いただけたらと思います。

4.2 は次回。4.3 は会計さんにお聞きしたくて、全学分担金が積み立てという扱いを最初

されていましたが、今いくらになっているんですか。

## 会計

今年度は積立として決算書を見ていただければ分かるように今年度分の積立金はないんですけど、前年度までで全学分担金として積み立てられている総額としては今現在 70,026 円になります。その用途についての確認というふうにこちら書いてあるんですけども、今のところ毎年使うようなものではないと考えていて、今後使う場面があるとすれば、防災衛生特別費の足しにする、具体的には消化器を定期的に購入しなければいけない可能性があって、消化器を買うにしてもかなりの費用がかかりますので、その足しにするっていうところが一番大きな流用目的かなと思っています。

あとは今年度のように予想よりも多くの来場者がいらっしゃったり、売り上げが大きく予想より跳ね上がった場合に追加で保険料をこちらで支払わなければいけないんですけども、そちらが大きく予想より外れて追加生産がかなりの額になった場合はそれそういったものの足しにするかなと今のところは考えています。

## 工

それが何かしら実行委員会規則の中で。明文化されているとかではないですか。

## 会計

全学分担金を徴収する際に毎年残金は積立てさせていただきますと言っているんですけど、これまで明確に今言ったような用途が説明されてこなかったかなと思うので、今言った用途はあくまで一例なので、今後もしかしたら別の用途で使われるかもしれませんし、そこは明文化してもいいかなと思っています。今のところは明文化されていないです。

## 工

それも含めて全学分担金について積立するのを何に使うのか、名目をどうするのかというところを決めてやったほうがよいのではということも含めて提案です。僕から以上です。

## 農

農学祭です。もう少し工学祭の方に質問でいいでしょうか。規則案の三章の一項の変更というところは、実行委員長や副実行委員長など三役やほかのところいわゆる執行部の人たちにも関わると思うんですけども、すでにこの工学祭の人からはこの案については議論はされていますか。私たちにはこの議案は昨日来たんですけども、実行委員会の委員長や副委員長あるいはあのほかの実行委員長の人たちとはもうすでに何らかの相談や話にはなっているんですか。

工

工学祭内でということですか。

農

はい。

委員長

僕の方に来たのはおとといです。工学祭の中で議論されたものをこの議案の形式で数日前に僕の方で受けて議論したいということでしたので、今回の実委の議題にあげたということです。なにか補足あればお願いします。

工

相談等はしていません。

農

では次回の委員長たちに引き継ぐ予定ということですね。あともう一つ、工学祭の中でこちらの全学分担金の規約分っていうのをそれぞれ出したいというふうな人は今渡辺さんがどちらも提起した人ということで良いですか。

工

はい。大丈夫です。

農

工学祭内で共有はしているけれど、議決してこれを上げようっていう風にもしていると捉えても良いでしょうか。

工

議決までは取ってないです。共有して、こういう形で実委で聞いてみます、という感じです。

委員長

よろしいでしょうか。内容について僕の方から補足させてください。議案3ページの下から4行目ですね、事務のお金から出せないということなんですけれども、先日の学生支援課との意見交換会の際に、消化器に関して現状不足していることで、昨年から外部から借用という形で借りているんですけれども、そういう事情を学生支援課に相談したところ、本数にもよるけどある程度事務からの購入ということも検討には入れるということでしたので、

それについては一点訂正というか補足という形にさせていただきます。よろしくお願いします。

加えて、僕から気になったことをなんですけれども、こちら工学祭さんということではなくて、次回以降各祭の皆様と一緒に議論していくことになると思いますので、気になったのは屋外参加団体というところの、2 ページ目の青文字の一番下のところですね、定義とかについてなんですけれども、メインストリートをどうするかっていうと獣医学祭だと北の方に行ったり、歯学祭さんだと今年駐車場であったり、薬学祭だと 13 条のイチョウ並木のところにあったりとか、その定義とか言うところも関わってくるかなと思いますので、もし各祭の中でこういった案はどうかというものがあいましたら、次回この件以外でも、この規則全体について何か提案とかございましたら、もってきていただければなと思います。工学祭からは大丈夫でしょうか。

## 工

そうですね。とりあえず二つあげさせてもらったので、二案について賛成、反対、改善案等を出していただけたらありがたいです。

## 委員長

それでは第四項の役員選挙に移ります。

## 4. 役員選出について

### 委員長

それでは選挙に移ります。新役員選挙は、北海道大学大祭全学実行委員会組織規約第二章第五条第一項に基づき行います。こちらの選挙の議事についてですが大学祭実行委員会規約の第五章選挙の項に従って行います。選挙により選出されますのは実行委員長、副実行委員長と各祭から互選される副実行委員長、会計、事務局長、会計監査の 6 名になります。まず委員長の選挙を行います。委員長に立候補される方は挙手をお願いいたします。立候補者 1 名です。それでは一言お願いいたします。

### 次期委員長

はい初めまして総合理系一年の赤井と申します。よろしくお願いします。各祭の皆様と共に、第 67 回の北大祭を参加団体の皆さま、来場者の皆様楽しんでいただけるものにして行きたいと考えています。よろしくお願いします。

### 委員長

ありがとうございました。それでは投票に移ります。立候補者が定数と同じですので、信

任投票を行います。北海道大学祭全学実行委員会規約第5章第27条に基づき投票は挙手により行います。まず信任投票を棄権される各祭代表の方は挙手をお願いいたします。続いて不信任される各祭代表の方挙手をお願いいたします。信任される各祭代表の方は挙手をお願いいたします。ありがとうございます。信任10票、不信任0票、棄権0票です。よって赤井さんは実行委員長に就任されました。私は暫定的に実行委員長業務を行っていましたが、先ほどの投票をもって新委員長が決定いたしましたので、これ以降は職務を引き渡します。1年間、66回の北大祭運営にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは交代いたします。

ここから、全学実行委員長（表記：**委員長**）は赤井

### 委員長

それでは改めまして2024年度後期全学委員長に就任しました、赤井です。今後よろしくをお願いいたします。それでは次に副実行委員長の選挙を行います。副実行委員長に立候補される方は挙手をお願いします。他にいらっしゃらないでしょうか。では候補者の方は一言お願いします

### 副委員長立候補者

工学部一年環境社会工学科の伊藤大然と申します。委員長と共に円滑な北大祭の運営を行っていきたく思います。よろしくお願いします。

### 委員長

ありがとうございます。それでは投票に移ります。信任投票となりましたので、まずは信任投票を棄権される各祭代表の方挙手をお願いします。続いて信任投票で不信任とされる代表の方は挙手をお願いします。続いて信任投票で信任とされる代表の方は挙手をお願いします。それでは棄権1票不信任0票信任9票で信任多数ですので、伊藤さんは2024年度全学実行委員会における副実行委員長に信任されました。新たな副実行委員長が選出されましたので、暫定的に業務を遂行されていまして副実行委員長の方は交代をお願いします。では続きまして委員会から互選される副実行委員長の選挙を行います。立候補される方は挙手をお願いします。それでは立候補者が他にいらっしゃらないようですので、立候補者の方は一言お願いします

### 副委員長立候補者

改めまして榆陵祭実行委員長の文学部1年、蜂谷と申します。各祭の皆様と一緒に北大祭をいいものにしていけたらと思います。よろしくお願いします。

### 委員長

ありがとうございます。候補者と定数は同数ですので、信任投票行います。まずは信任投票を棄権される代表の方は挙手をお願いします。次に不信任とされる代表の方は挙手をお願いします。続いて信任とされる方は挙手をお願いします。ありがとうございます。それでは棄権 0 票不信任 0 票信任 10 票で、蜂谷さんは信任されました。蜂谷さんには 2024 年度全学実行委員会における副実行委員長を務めていただきます。続いて会計を選出します。会計に立候補される方は挙手をお願いします。それでは一言お願いします。

#### 会計立候補者

法学部一年の土橋です。北大祭を金銭面という大変重要な側面から支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 委員長

ありがとうございます。それではこちらも同様に信任投票を行います。まず信任投票を棄権される代表の方は挙手をお願いします。次に不信任とされる方は挙手をお願いします。次に信任とされる代表の方は挙手をお願いします。ありがとうございます。それでは棄権 0 票不信任 0 票信任 10 票で信任多数ですので、土橋さんは 2024 年度全学実行委員会における会計に信任されました。新たな会計が選出されたので、暫定的に業務を遂行しております会計の方は交代をお願いします。続いて事務局長の選挙行います。事務局長に立候補される方は挙手をお願いします。では立候補された方は一言お願いします。

#### 事務局長立候補者

はじめまして法学部一年の池田と申します。北大祭事務局の事務局長として責任を持って北大祭の成功に尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

#### 委員長

ありがとうございます。それでは投票に移ります。こちらも同様に信任投票となりますので、まずは信任投票を棄権される代表の方は挙手をお願いします。続いて不信任とされる方は挙手をお願いします。最後に信任される方は挙手をお願いします。ありがとうございます。それでは棄権 0 票不信任 0 票信任 10 票ですので、池田さんは 2024 年全学実行委員会の、北大祭事務局の事務局長に就任されました。新たな事務局長が選出されたので、暫定的に業務を遂行しております事務局長の方は交代をお願いします。では最後に委員会から互選される会計監査の選挙行います。会計監査の業務の概要について会計の土橋さん、お願いします。

#### 会計

全学会計です。会計監査は全学実委の会計処理が適切に行われているか監視して全学実委に報告する役職となっております。

## 委員長

ありがとうございます。それでは会計監査に立候補される方は挙手をお願いします。では、立候補者がいらっしゃらないため、抽選により会計監査を選出いたします。皆様ディスコードの画面をご覧ください。ルーレットを利用して会計監査を決めさせていただきますが、委員会から互選される副実行委員長に就任されています榎陵祭委員長の方は会計監査との兼任ができませんので、本抽選からは外させていただきます。ご了承ください。それでは皆さんよろしいでしょうか。ではルーレットをします。抽選の結果、獣医学祭の代表の方は会計監査を務めていただきます。よろしくお願いいたします。これをもちまして 2024 年度後期全学実行委員会の役員選出を終わります。

## 5. 連絡事項

### 委員長

では最後に、連絡事項についてです。レジュメには後日お知らせしますとしていたのですが、後期第 2 回の全学実行委員会は 11 月 13 日の水曜日に開催することといたしました。時間は本日と同じ 18 時 30 分からで、場所も本日と同じく高等教育推進機構の N260 で行います。なお議題等につきましては、後日ラインのグループに共有いたしますのでそちらをご覧ください。また、今後の実行委員会は基本的に対面で参加していただきたいと思っています。それが厳しいようでしたらズームのみの参加でかまいません。もし万が一欠席されるということであれば、後ほどわたくしがライングループに参加しますのでそちらからご連絡ください。また今後の実行委員会においてはレジュメの紙面での配布は行いません。パソコン等資料を参照できる媒体をお持ちください。よろしくお願いいたします。ここまでで質問等がありますでしょうか。ないようですので、以上をもちまして、2024 年度後期第 1 回全学実行委員会を終わります。